

特別委員会審査報告

市街地活性化特別委員会 塩尻市総合計画特別委員会

市街地活性化特別委員会

1月25日

北部地域の拠点のまちづくりについて

塩尻市北部の拠点と位置づけられる広丘地区の支所建設を中心とする計画について、説明を受け、質疑を行いました。

広丘支所建て替えにより、公共施設の集約・複合化とあるが、具体的に事業費及び事業年度はいつかとの質問に、敷地の制限があり、全体規模や施設の集約化については検討中であるとの答弁がありました。



委員会審査

地域の拠点として広丘駅周辺の整備とその周りに広がる郷原宿や短歌館も含め、どのような街にしていく考えか、また地元から施設に対する要望は出ているかとの質問に、地元の振興会から広丘駅周辺も含め「広丘支所・公民館の



広丘支所

再生整備に関する要望書」が市にあてて出されている、将来的にどのようにしていくか検討していきたいとの答弁がありました。

建て替え場所は、現在の位置に決定したのか、郊外への建設は考えていないかとの質問に、駅周辺も含めて整備していきたい。利用者の要望やアクセスのしやすさから現在地がふさわしい。周辺の地権者からも好意的な返事を頂いており、まとまりつつあるとの答弁がありました。

広丘支所の建て替えに関連して、勤労青少年ホームの機能も含めて検討するかとの質問に、検討していく候補の施設として、業務内容も含め検討するとの答弁がありました。

塩尻市総合計画特別委員会

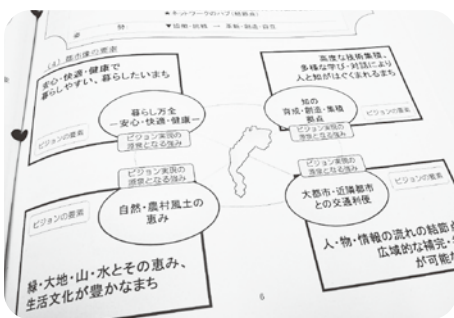
2月25日

第五次総合計画骨子案が示される

平成27年度を始期とする第五次総合計画の策定について、現在までにまとまった長期戦略骨子（案）について説明を受けました。

長期戦略骨子（案）では、全体の計画期間を9年とし、3年間の中期戦略を3期更新することにより、社会構造の変化に機敏に対応して行くこと・市民アンケート結果等から浮かび上がった本市の潜在力を、目指す都市像に活かすこと・子育て世代に選ばれることにより、生産年齢人口の確保を図り持続可能な地域をつくるなど、重点的に取り組む基本戦略等が示されました。

従来の基本構想に当たる長



第五次総合計画骨子案資料



委員会審査

期戦略について、これまでどおり議決事件とするのか・計画期間内の見直しはあるのか・道州制等の自治体再編をどうとらえているのか・現在の第四次総合計画との違いは何か・本市の産業を支える製造業の振興や、交通の要衝、アクセスの利便性という優位性を生かした産業振興、雇用創出を重点化すればどうか・土地対策の見直しが必要ではないかなどの質問、意見が出され、概要が示された第五次総合計画の内容について、理解を深めることができました。